

外国語教育メディア学会（LET）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2015年度 1月例会のご案内

日時： 2016年 1月10日（日）13:30～17:00

会場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： LET会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・無料
京都外国語大学英語教育研究会会員・・・・300円
学生・・・・200円 一般・・・・500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

13:10～ 受付
13:30 開会

内容に踏み込んだ言語活動にトライ！

京都教育大学 西本有逸

次回の学習指導要領改訂のキーワードの1つが「内容に踏み込んだ言語活動」です。語彙力が大切になってくるのは容易に想像できます。でも、語彙力にとどまらず、是非とも生徒の思考力や想像力さらには創造力を高めたいものです。教科書の創造的使用だけでなく、現場であまり見かけないディスコースの転換（written discourse から spoken discourse へ あるいはその逆）等をワークショップで考えたいと思います。

途中休憩

授業のデザイン～帯活動と教科書の活用～

京都市立西京高等学校附属中学校 竹村依子

食事や歯磨きなど、一日の生活でそれぞれ必ずやる必要があります。やらなければならないからやるのではなく、習慣化する仕組みを授業の中でも取り入れられないものでしょうか。家庭学習は、授業の延長であると位置づけし、日々の授業を組み立てています。

授業開始の前には、何をしていますか。授業のベルと同時に何をしていますか。1分後には何をしていますか。では、10分後、15分後はどうでしょうか。Song, Q&A, Definition Quiz, Bingo, Last Sentence Dictation, Dictionary Time, Chants, Chat, Basic English (基本文確認), Picture Book など、授業の前半に4種類程度を取り入れています。その手法や取り組む時期などについて紹介すると共に、生徒が英語を使って慣れる時間の大切さについて考えたいと思います。

また、中学校の教科書本文は生徒たちの英語の礎とし、登場人物の気持ちや場面をよく考えながら、音読を繰り返し自分のことばに近づけます。行間に秘められた動きやセリフを推測する力を生徒たちは持っています。ワクワクしながら教科書を開くような仕掛けを考え、登場人物を身近な存在に感じさせる工夫も必要となります。学習を深めていくうちに出てくる生徒からの質問は、想定しているものとは全く違うユニークなものがたくさんあります。ここでは、その質問内容も紹介する予定です。

17:00 閉会

今後の予定：

3月19日(土)・20日(日) 第22回中学高校教員のための英語教育セミナー
於) キャンパスプラザ京都